

氏名	岸 幹 二		
学位の種類	医 学 博 士		
学位授与番号	乙 第 6 6 9 号		
学位授与の日付	昭 和 5 0 年 3 月 3 1 日		
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)		
学位論文題目	外頸動脈結紮に伴う分布領域血管像に関する実験的研究		
論文審査委員	教授 砂田輝武	教授 田中早苗	教授 西本 詮

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

家兎52匹を用い、左側外頸動脈結紮後における分布領域血管像の変化、とくに血管像の回復状態と側幅血行路の発展について、谷口らのアクリル樹脂注入法により実験的研究を行った。注入血管網は結紮直後では極めて疎で、以後経日的に密となり、反対側に隣接する部分、すなわち、鼻尖附近、上下唇、舌、口蓋などでは血管網の回復は早く、これらの部では非結紮側より血行が流入することが多かった。

頬部、眼窩下部より側鼻にかけては、比較的血管網の回復はおそく、結紮側内頸動脈より血行が流入することが多かった。

血管網密度は結紮1～2週ではほぼ正常例程度となり、血行路の安定する時期は側幅路の安定する時期より推察して、結紮後3週～1月位と考えられた。

結紮後の血行回復には結紮側内眼動脈より外眼動脈へのルートおよび非結紮側舌動脈より結紮側舌動脈へのルートが主なもので、結紮早期においては、外頸動脈末梢の吻合が参与するものであろうと推定された。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は、外頸動脈結紮に伴う分布領域血管像に関して研究したものであるが、従来十分明らかでなかった分布領域血管像の変化、とくに血管像の回復状態と側幅血行路の発展について重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。